

1. 競技上の注意

- 1 本大会は平成26年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び公認審判員規定に準じ、本大会運営規程により行う。
- 2 タイムテーブルについて
 - (1) 試合は、試合番号優先で進行する。
 - (2) ゲーム進行上、タイムテーブルとコート・時間が変わる場合があるため、館内放送に注意する。
- 3 オーダーについて
 - (1) 1回戦及び初戦は、ゲーム開始予定時刻20分前までにオーダー用紙をオーダー交換所に提出しなければならない。(但し、一日目9:00からの試合の団体戦については、当日8:40にオーダー交換を行う)
 - (2) 複1・単・複2の順番で試合をし、初戦のみ全試合行う。全試合ともオーダー用紙提出後の変更を認めない(但し、勝敗決定後の両監督の同意がある場合を除く)。
 - (3) オーダーの提出については原則として該当チームの監督が行うが、監督が試合中で提出できない時は、コーチまたはマネージャーが行う。
- 4 サイド
 - (1) 団体戦では、1回戦より進行上1試合2コート同時に利用することもある(原則として3コート同時に試合することはしない。また、試合開始30分以上経過した場合はコートを開くこともある)。
 - (2) 団体戦では、ベンチとコーチングシートを設ける。
 - ①監督は、ベンチかコーチングシートのどちらかに必ず入ること。
 - ②ベンチへは、監督1名、コーチまたはマネージャー1名と選手7名の計9名以内が入ることができる。
 - ③コーチングシートへは、監督、コーチまたはマネージャーが入ることができる。
 - ④団体戦のベンチは、組み合わせの上側(若番)のチームが主番の右側のベンチに入る。
 ※ 予選トーナメントはベンチ席(椅子)を設置しない(事故・けが防止のため)が、決勝トーナメント時は、椅子を設置する。
 - (3) 個人戦では、コーチングシートを設ける(団体戦用のベンチが残っている場合は使用しない)。
 - ①監督は必ずコーチングシートに入ること。
 - ②コーチまたはマネージャー1名もコーチングシートに入ることができる。
 - ③チームが複数コートでしている場合は監督、コーチまたはマネージャーの順で入ることができる。
 - ④個人戦では組み合わせの若番が主番から見て右側のコートに入る。
 - (4) コーチングシートは、選手がチェンジエングスした際に交代する(アドバイスはチェンジエングス後とする)。
- 5 ゲーム中(インプレー以外時)のアドバイスについて
 - (1) アドバイスはコーチングシートからのみとする。
 - (2) 試合の遅延行為にならないようにする。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはならない。
- 6 インターバル
 - (1) 全てのゲーム中に、一方のサイドがスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。(16条第2項)
 - (2) 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。(16条第2項)
 - (3) インターバル時のアドバイス
 - ①団体戦では、コーチングシートまたはベンチに入っている者2名までコートサイドに行ける。
 - ②個人戦では、コーチングシートに入っている者2名とする。但し、2コート以上で同一校の選手が試合を行う場合は、監督、コーチ又はマネージャーはインターバルの時に限り、コートを離れて、アドバイスに行くことができる。また、元の席に戻るようにし、試合終了後は移動してもよい。
 - (4) 団体戦、個人戦ともに連続試合になる場合は、10分間のインターバルをとることができる。但し、団体戦と個人戦は切り替わる場合、当該選手のみ適用する。
- 7 シャトルについて
 - (1) シャトルは本部で渡されたシャトルを使用する(A-WIN CHAMPION、ヨネックストーナメントF-90、ヨネックスニューオフィシャルF-80)。
 - (2) シャトルを渡されたら、試し打ちはなし。すぐに試合を開始する。
- 8 公式練習時間
 - (1) 団体戦は、あいさつの後に3分間ずつとる。主審から見て右側から先に行う(2コート同時に行える場合は、若番チームが若番コートで、後番チームは後番コートで同時に行う)。
 - (2) 個人戦は、初戦とベスト8からであれば、3分間同時に行う。シングルスの場合、対戦相手と練習する(練習パートナー不可)。
 - (3) 試合開始前の3分間の練習は、不必要ならば、省略してもよい。
- 9 水分補給等
 競技中の汗拭き、水分の補給については、主審の許可を得て行い、ゲームの中断にならないようにする。水分補給用容器はスクイズボトルを使用し、脱衣かごにに入れる。
- 10 試合態度
 - (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすることを、してはならない(第16条第4、6項)。
 - くっひもの結び直し ○眼鏡を拭く ○構えない ○サーブをなかなか打たない
 - 汗拭きのために勝手にコートを出る など
 - (2) 見苦しい服装、無礼な態度や言動、耳障りな掛け声や叫び声などもしてはならない(第16条第6項)。
 - (3) 審判に対しての質問は認められるが、抗議はできない。但し、団体戦においては当該選手および監督、個人戦においては当該選手のみとする。
 ※これらの行為が度重なる場合は、警告の後、フォルトをとる。度重なる場合は失格となる場合もある。
 - (4) 上衣は下衣の中に入れること(ユニフォームの形状で上衣を中に入れられないものもあるが、あいさつの時やインターバル後に入れておくこと)。
 - (5) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピングは認めるが、ブレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。また、髪をとめるピンや髪を結ぶヘアゴム等は、黒や茶系統とし、光に反射する物であってもならない。

11 サービスジャッジ
監督（複数で試合をしている場合はコーチ）からの要請があり、主審がその必要性を認めた場合、サービスジャッジをつけることができる。

12 その他

- (1) 大会使用ウェアは、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
※ ソックスはくるぶしを覆うものとし、ハイソックスやルーズソックスは禁止とし、白地を基調とするものとする。
- (2) ウェアは背面や袖口にプリントや刺繍のないものを使用し、ゼッケンは四隅の4箇所を留めること。もし、背面プリントのあるウェアを着用する場合は、ゼッケンで完全に隠れるようにすること。
- (3) 監督、コーチ、マネージャーはフロア内（ベンチやコーチングシート、オーダー交換所）に入る場合は、IDカードをつけること。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーはフロア内（ベンチやコーチングシートに入る場合）に入る場合、競技用シューズや体育館シューズを履くこと。また、服装も試合にふさわしい服装とし、なるべくズボンまたはスカート、襟付きシャツが望ましい。
- (5) 病気やけがの場合は、本人の意思を確認する。その際、救護係が応急措置を行うこともある。ゲーム続行の場合は、遅延行為にならないようにゲームを進行する。
- (6) コートに持ち込めるもの

① かごに持ち込めるもの（主審に許可をもらいながら使える道具として考えてよい）・・・コートサイド

・ラケット ・シャトル ・スクイズボトル ・タオル ・滑り止め

② ベンチに持ち込めるもの（60秒、120秒インターバル時に、ベンチからコートサイドに持ち込めるもの）

・氷のう（使用の仕方注意） ・コールドスプレー ・濡れタオル
・うちわ（応援道具としては不可）
・クーラーバック、又はクーラーボックス（ソフトタイプ）
* 注意事項 1) A4サイズ程度のコンパクトなもので一つまで
2) 床に水を溜めない、水滴をたらさないことに注意し、たらしたら速やかにふき取るようにすること

③ ベンチに持ち込めないもの

・モバイル機器→携帯電話（スマホも含む）、iPad等 ・トランシーバー
・大きなクーラーボックス

(7) 横断幕について

- ① 学校名のみ使用可とする（個人名、ジュニアクラブ名等は不可）。
- ② プレーの妨げにならない場所（コートサイド等）に掲示する（詳細は会場にて指示）。

II. 選手変更と監督・コーチ・マネージャー変更について

※ 両変更届は監督会前の受付に書類を提出する。

1 「選手変更届（団体戦のみ）」について

- ① 団体戦登録選手のみを変更とする。（追加や個人戦シングルス・ダブルスの変更はありません。）
- ② 変更される選手は、負傷、疾病による者の変更が可能。その際は、理由を明記し、学校長が認めた場合（公印が必要）とする。

2 「監督、コーチ、マネージャー変更届」について

- ・変更される名前と変更理由を明記し、学校長が認めた場合（校印が必要）とする。

III. 体育館使用上の注意

- 1 事故防止及び試合進行をスムーズに行うため、フロアー及び通路、玄関ロビー、空コートでの練習は認めない。
- 2 外靴は、バックや袋を各自で用意して入館し自己管理して下さい（靴箱はありますが、盗難防止のため）。
- 3 2階への外階段はご使用なれません。1階玄関をお使い下さい。
- 4 体育館シューズでは外に出ないようにお願いします。
- 5 競技中に出たゴミは、持ち帰りをお願いします。
- 6 会場図の注意事項（※1～7）を厳守すること。
※ 選手団控え所を各地区別に割当ててます。保護者・一般応援席には選手団の荷物は置かないで下さい。
また、前列での応援は座ってお願いします。
- 7 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
- 8 貴重品やラケット等のバドミントン用品の管理は各学校及び各自で徹底してください。

IV. 式典について

1. 開会式を21日の16時30分より、本体育館で行う。
2. 選手の服装は、ユニフォーム
3. 閉会式及び表彰式については、以下のように行う。
 - (1) 団体戦表彰式（男女1～4位チーム）
 - ① 競技2日目の団体戦競技終了後、直ちに執り行う。
 - ② 係の指示に従い、迅速に行う。

男女上位2チームは、競技2日目の全日程終了後、「九州大会」出場についての説明会を本体育館会議室で行います。監督の出席をお願いします。

- (2) 閉会式及び個人戦表彰（男女各種目1～4位の選手）
 - ① 競技3日目終了後、閉会式の中で個人戦表彰を行う。
 - ② 係の指示に従い、迅速に行う。

男女上位4位までに入賞した選手は、競技3日目の全日程終了後、「九州大会」出場についての説明会を本体育館会議室で行います。監督の出席をお願いします。
(但し、前日の団体戦出場で説明を受けた監督は参加しなくても可)

V. 九州大会（宮崎県開催）出場に寄せて

選手や監督が九州・全国大会の独特な雰囲気慣れ、その中で実力を最大限に発揮できるように本大会においても以下の通り環境づくりに努めますので、ご協力をお願いします。
尚、大会2日目の団体戦決勝リーグ、3日目の個人戦ベスト4より、プラカードによる入退場を行います。

<確認事項>

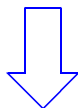
◎ 誘導→入場→退場の整列順序

- ① 入場
団体・個人戦ともに若番を先頭に、以下の順序に整列し入場する。

先頭： プラカード（得点係） → 監督 → コーチ又はマネージャー → 選手 *先頭は主将

※個人戦シングルスの場合、公式練習時の練習は対戦相手と行う。

- ② 退場は、勝者チーム・選手を先頭に退場する。



<お知らせ>

平成28年度の8月に九州中学生バドミントン競技大会（九州中体連主催）が、地元沖縄で開催することが決定しています（あと2年後）。

地元開催で、運営の円滑化と選手やチームの競技力向上の二本を柱に、レベルアップを図りたいと考えています。

顧問の先生方には、益々のご協力とご理解を頂き、

「沖縄から九州経由全国大会へ」

を合い言葉に、選手のために、最高の環境を、

ともにつくっていきましょう！

